

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

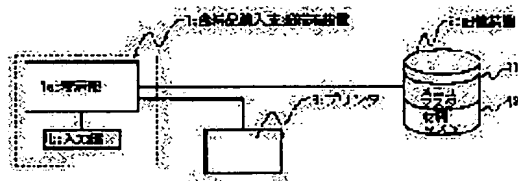
**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

#3

(11)Publication number : 07-134738
(43)Date of publication of application : 23.05.1995

(21)Application number : **05-282325** (71)Applicant : **OMRON CORP**
(22)Date of filing : **11.11.1993** (72)Inventor : **HISADA KOJI**

CONSTITUTION: A food purchase supporting terminal equipment 1 is arranged at the entrance of a food selling corner in a shop. All dish names registered in cooking menus are displayed on a display part 1a built in the equipment 1. When a dish registered in the menus is specified, selling positions in the shop are outputted from a printer 3 correspondingly to materials necessary for preparing the specified dish. Thereby, all materials necessary for preparing a dish registered in the menus can easily be known and the materials can be prevented from being forgotten to be purchased. In addition, selling positions for the materials can be also easily known and the search of the materials by moving around in the shop is made unnecessary, so that time required for the purchase can be shortened.



[Date of request for examination]
[Date of sending the examiner's decision of rejection]
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

2001/04/13 15:44

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-134738

(43) 公開日 平成7年(1995)5月23日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/60				
G 0 7 F 9/00	1 1 0 Z	8724-5L	G 0 6 F 15/ 21	Z

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平5-282325

(22) 出願日 平成5年(1993)11月11日

(71) 出願人 000002945

オムロン株式会社

京都府京都市右京区花園土堂町10番地

(72) 発明者 久田 浩司

京都府京都市右京区花園土堂町10番地 オ

ムロン株式会社内

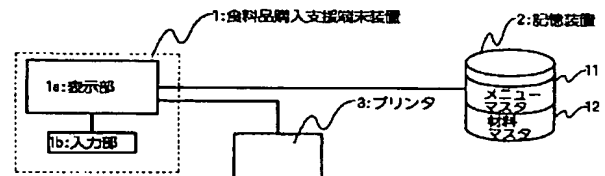
(74) 代理人 弁理士 小森 久夫

(54) 【発明の名称】 食料品購入支援システム

(57) 【要約】

【目的】顧客が選択した料理に必要な材料と売り場位置を出力することにより、必要な材料の買い忘れを防止するとともに、店舗内での売り場位置を知らせることにより顧客が店舗内での移動距離を短くして材料の購入が行える食料品購入支援システムを提供する。

【構成】食料品購入支援端末装置1の表示部1aに表示された料理メニュー内の料理を入力部1bを操作して指定する。食料品購入支援端末装置1は、記憶装置2が記憶しているメニューマスタ11と材料マスタ12から指定された料理を作る際に必要となる材料と、この材料の売り場位置を読み出して出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 料理名が登録された料理メニューを表示する料理メニュー表示手段と、前記料理メニューに登録されている料理毎に少なくとも該料理を作る際に必要となる材料の材料名とこの材料の店舗内の売り場位置とを記憶するエリアを備えた材料記憶手段と、前記料理メニューに登録されている料理を指定する料理指定手段と、指定された料理に必要な材料名と売り場位置とを前記材料記憶手段から読みだして出力する必要材料出力手段と、を備えたことを特徴とする食料品購入支援システム。

【請求項 2】 前記必要材料出力手段は、店舗内で売り場位置が並んでいる順番に材料名を出力することを特徴とする請求項 1 記載の食料品購入支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、選択された料理を作る際に必要な材料と売り場位置を出力することにより、顧客に対して店舗での食料品の購入を助ける食料品購入支援システムに関する。

【0002】

【従来の技術】通常、店舗の食品売り場では、野菜や魚や肉等の材料の種別によって陳列されており、顧客は、これから作ろうとする料理に必要な材料を店舗内を移動しながら探し、一つ一つ買い揃えていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、店舗での材料購入の際に必要な材料の購入を忘れてしまうことがあり、再度店舗にこの購入し忘れた材料を購入に行くことになる場合があった。

【0004】また、顧客は店舗内で必要な材料の売り場位置が分からない場合には、店舗内をあちこち移動して探し回るために、無駄に長い距離を移動して、料理に必要な材料の購入にかかる時間が長くなる等の問題があった。

【0005】この発明の目的は、顧客が選択した料理に必要な材料と売り場位置を出力することにより、必要な材料の買い忘れを防止するとともに、店舗内での売り場位置を知らせることにより顧客が店舗内での移動距離を短くして材料の購入が行える食料品購入支援システムを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】この発明の食料品購入支援システムは、料理名が登録された料理メニューを表示する料理メニュー表示手段と、前記料理メニューに登録されている料理毎に少なくとも該料理を作る際に必要となる材料の材料名とこの材料の店舗内の売り場位置とを記憶するエリアを備えた材料記憶手段と、前記料理メニューに登録されている料理を指定する料理指定手段と、指定された料理に必要な材料名と売り場位置とを前記材

料記憶手段から読みだして出力する必要材料出力手段と、を備えたことを特徴とする。

【0007】また、前記必要材料出力手段は、店舗内で売り場位置が並んでいる順番に材料名を出力することを特徴とする。

【0008】

【作用】この発明の食料品購入支援システムにおいては、料理メニューに登録されている料理名を表示して顧客に知らせる。料理メニューに登録されている料理が指定されると、この指定された料理を作る際に必要となる材料毎に店舗内の売り場位置を対応させて出力する。このため、顧客はこれから作ろうとする料理を料理メニューで指定することにより、該料理に必要な材料と、売り場位置を知ることができる。したがって、顧客は材料の購入忘れや、店舗内をあちこち移動しながら材料の売り場位置を探し回ることがなくなり、料理に必要な材料の購入にかかる時間を短縮することができる。

【0009】また、店舗内で売り場位置が並んでいる順番に、料理に必要な材料を出力することにより、顧客は店舗内の移動距離が最短となる経路で材料の購入を行うことができる。

【0010】

【実施例】図 1 は、この発明の実施例である食料品購入支援システムの構成を示す図である。食料品購入支援システムは、料理名が登録された料理メニューの表示や料理メニューに登録されている料理の指定等の入力操作等を行う食料品購入支援端末装置 1 と、前記料理メニューに登録された料理毎に必要な材料や売り場位置等を記憶した記憶装置 2 と、前記記憶装置 2 から読みだしたデータを印字して出力するプリンタ 3 と、を備えている。食料品購入支援端末装置 1 には、料理メニューを表示する表示部 1a と、入力操作を行う入力部 1b と、を備えている。記憶装置 2 には、メニューマスタ 11 と、材料マスタ 12 と、を備えている。

【0011】メニューマスタ 11 は、料理名と、この料理を作る際に必要となる必要材料毎に材料名を識別する材料 ID に該料理を一人分作る際に必要となる分量を対応させて記憶している料理テーブル 11a を料理メニューに登録されている料理毎に備えている（図 2（A）参照）。材料マスタ 12 は、材料を識別する材料 ID と、この材料 ID で識別される材料名と、該材料の売り場位置と、単位量当たりの価格と、を対応させて記憶した材料テーブル 12a を少なくとも料理メニューに登録されている全ての料理を作る際に必要となる材料分備えている（図 2（B）参照）。売り場位置は、売り場ごとに吊るされている売り場を表示した案内板に書かれている売り場番号を記憶している。

【0012】店舗の食品売り場の入口に食料品購入支援端末装置 1 が設置されており、食料品購入支援端末装置 1 に備えられた表示部 1a に料理メニューに登録されて

3

いる料理の名前が全て表示されている。図3は、食料品購入支援端末装置1の操作手順を示す図であり、図4は、食料品購入支援システムの処理を示す図である。最初に、顧客は表示部に表示されている料理メニューのなかから、これから作る料理の指定を行う(n1)。例えば、図5に示す様に画面上に料理メニューが表示されており、この料理の指定は食料品購入支援端末装置1に備えられたキーボード等の入力部1bから料理名に対応づけられて表示されている料理番号を入力することにより行う。

【0013】食料品購入支援システムは、n1で料理の指定が行われると(n11)、何人分の料理を作るかの入力待ち状態で待機する(n12)。顧客は、入力部1bを操作して何人分の料理を作るかを入力する(n2)。この入力、この料理を作る対象となる大人の人数と子供の人数を別々に入力する。人数の入力が完了すると、食料品購入支援端末装置1は、記憶装置2に記憶されているメニューマスタを検索し、n1で指定された料理の料理テーブル11aを読みだす(n13)。

【0014】そして、材料マスタ12からこの読みだした料理テーブル11aが記憶している必要材料の順番にしたがって以下のn14~n17の処理を繰り返す。必要材料として記憶されている材料IDに対応する材料テーブル12aを読みだし(n14)、材料名と、売り場位置と、単位量当たりの価格と、を示すデータを獲得する。次に、n2で入力された大人と子供の人数と、料理テーブルに記憶されている該材料の1人分の分量と、を用いて料理を作る場合に必要な該材料の必要量を算出する(n15)。この必要量の算出は、例えば子供の分量は大人の半分とすると、

必要量=1人分の分量×(大人の人数+子供の人数/2)で算出し、この算出した必要量での価格の算出を行う(n16)。n14~n16の処理が完了すると、食料品購入支援端末装置1に備えられた表示部に材料名、売り場位置、必要量、価格からなる材料データを表示する(n17)。

【0015】ところで、料理テーブルには、必要材料を店舗内で売り場が並んでいる順番に記憶している。したがって、n17で表示部に表示される必要材料の順番は、売り場順に表示されることとなる。そして、n14~n17の処理を料理テーブルに記憶されている全ての必要材料について完了すると(n18)、全ての必要材料を必要量購入した際の価格を合計し、この合計金額を表示する(n19)。食料品購入支援端末装置1は、表示部1aに例えば図6に示す様にメニュー名、人数、必要材料の材料データ、合計金額からなる材料購入支援データを表示し、表示した材料購入支援データの印字出力を行うかどうかの入力待ち状態で待機する(n20)。

【0016】顧客は、入力部を操作して表示部1aに表示されている材料購入支援データの印字出力を希望する

4

かどうかを入力部1bを操作して入力する(n3)。n3で材料購入支援データの印字出力を希望する入力が行われると、プリンタ3で材料購入支援データを印字して材料購入支援票を発行し(n21)、動作を完了する。n3で材料購入支援データの印字出力が希望されなかった際には、プリンタ3での材料購入支援票の発行を行わずに動作を終了する。ところで、プリンタ3で発行される材料購入支援票も必要材料が表示部1aに表示された順番に印字が行われる。

10 【0017】顧客は、プリンタ3で発行された材料購入支援票に基づいて買物を行うことにより、これから作る料理に必要な材料の買い忘れの防止や、指定した料理を作る際にかかる費用の目安を容易に知ることができる。また、売り場位置も出力されているので、材料の購入の際に店舗内をあちこち移動することなく材料の購入が行える。さらに、売り場位置が並んでいる順番に表示、または、印字して出力することにより、顧客が表示部1aの表示または材料購入支援票に印字されている順番に材料の購入を行うことにより、店舗内での移動距離が最短となる経路で材料の購入を行うことができる。

20 【0018】一方、店舗では、上述したように顧客が材料の売り場位置が分からずに店舗内をあちこち移動することがなくなり、食料品売り場の混雑の解消が図れるとともに、重点的に販売を行いたい材料が必要材料に含まれる料理を料理メニューに登録しておいたり、料理テーブルに該料理のオプション的な材料(例えば、ビーフカレーにおけるマッシュルーム等)も登録しておくことにより販販効果が得られる。

30 【0019】また、材料テーブル12aに単位量当たりのカロリー数も記憶させることにより、1人当たりの料理のカロリー数を算出して表示、または、印字することによって、顧客にカロリー数を知らせる等のサービスを提供することもできる。

【0020】なお、上記実施例での材料IDにPOSシステムのPLUコードを用いることにより、材料マスタ12の代わりにPOSシステムのPLUファイルを利用することができ、食料品購入支援システムをPOSシステムと連動させて動作させることもできる。

【0021】

40 【発明の効果】以上のように、この発明によれば、料理メニューに登録された料理を作る際に必要となる全ての材料を容易に知ることができ、材料の購入を忘れてしまうことを防止できる。また、料理メニューに登録されている料理をつくる際にかかる費用の目安を容易に知ることができる。さらに、材料の売り場位置も容易に知ることができ、店舗内をあちこち移動して材料を探すことがなくなり、無駄に長い距離を移動することがなく、材料の購入にかかる時間を短縮することができる。

50 【0022】さらに、店舗内で売り場位置の並んでいる順番に必要な材料を知らせることにより、店舗内での移

【図4】

